



決算のご報告

第81期 2018年4月1日～
2019年3月31日

東映アニメーション株式会社



PERO'S
ステーション

株主の皆様へ

代表取締役社長
高木 勝裕

さらなる成長のために、
アニメ製作プロダクションとして、
中長期でコンテンツ開発に
注力してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また平素は格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

売上高、各利益いずれも 過去最高を更新

当期は、国内外でアプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』を中心としたゲーム化権と、中国・北米を中心とした映像配信権の販売が前期をさらに上回って好調に推移しました。利益率の高い著作権事業や海外映像販売事業が伸びたことから大幅な増収増益となり、売上高は3期連続、各利益にいたっては4期連続でいずれも過去最高額を

更新しました。

好調な業績の背景には、デジタル化の追い風が挙げられます。スマートフォンの普及等によりアプリゲームや配信という新しい市場が拡大しており、この2つの市場はまだまだ成長が続く見通しです。これを受けて、当社の日本を含む全世界でのアプリゲーム化権の売上は、4年前に比べ約2.8倍、配信権販売は約1.8倍と急拡大しています。もちろん、この市場拡大の恩恵を受けられているのは、当社の作品の力があってこそです。

さらなる成長のための 二軸コンテンツ開発

逆に言えば、作品の人気がなければ、いくら事業環境の追い風があってもそれに乗ることはできません。さらなる成長のためには、アニメ制作プロダクションとして中長期でのコンテンツ開発への注力が不可欠です。これを当社は、2つの軸で推し進めていきます。

1 新作・新ビジネスへの挑戦

世界を見渡すと、人口増大を伴った経済発展をしている国は多くあります。こうした市場に向けて、当社の強みを生かした作品を投入していきます。

具体的には、「聖闘士星矢」を配信サイトのNetflix向けにCG作品としてリメイクします。

また、「The Monkey Prince (仮)」という作品は、日本・中国・米国の3カ国による共同合作です。海外の市場ニーズに合った作品製作を進めることで、日本アニメとしてではなくグローバル作品としてのヒットを目指します。

また、当社に今までなかった新しい視点を持った企画を創出し、新たなヒット作の製作を目指すため、2018年、社内で若手社員による企画開発プロジェクトを立ち上げました。これまでの枠組みにとらわれない、柔軟な発想に基づく企画創出を目指します。

さらに同年は、CGスタジオの株式会社ダンデライオンアニメーションスタジオに出資を行いました。今後も、外部との協力関係を構築し、製作ラインの拡充や新規企画開発など、新たなヒットの種まきを行っていきます。

2 既存コンテンツの活性化

当社の強みである豊富なライブラリー作品の展開を活性化させることで、さらなる業績の上積みを狙います。

＜既存コンテンツの新作展開＞

「魔女見習いをさがして」という「おジャ魔女どれみ」シリーズの20周年記念企画作品を2020年に公開する予定です。また同年に「デジモン」シリーズも20周年を迎え、2020年初春には新作「劇場版デジモンアドベンチャー(仮題)」を公開予定です。

＜既存コンテンツの海外展開＞

当社の、海外でも知名度が高いライブラリー作品の豊富さを活かし、現在目覚ましい成長を見せている中国のアプリゲーム市場に、「スラムダンク」と「Dr.スランプ アラレちゃん」を題材としたアプリゲームがリリースされる予定です。

＜販促活動への活用＞

定番となっている当社作品は、販促活動にも多く活用されています。NTT DocomoのCMでは「一休さん」が、JR東日本のキャンペーンでは「Dr.スランプ アラレちゃん」が起用されており、皆様もご覧になられているかと思います。

これからも当社は、アニメ制作プロダクションとしての原点に立ち返り、当社の経営理念にもある、「世界の子どもたちと人々に『夢』と『希望』を与える」ような作品を生み出し、さらなる成長を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後ともいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長 高 木 勝 裕

決算のご報告

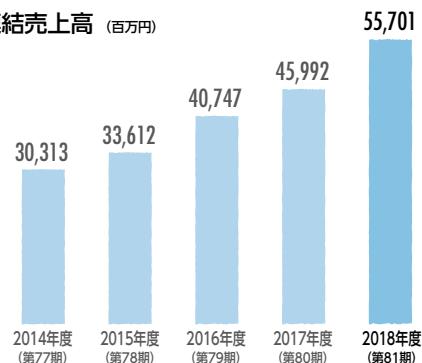
2018年4月1日～2019年3月31日(第81期連結会計年度)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

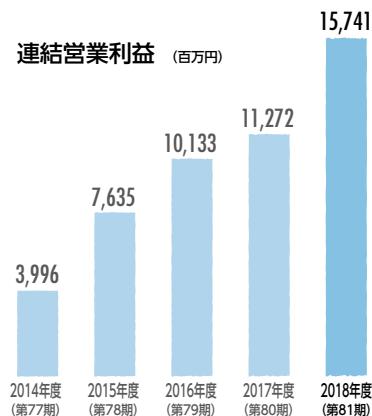
当社は「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズといった主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては国内外でのアプリゲームなどゲーム化権の販売に加え、中国を中心とした映像配信権の販売に引き続き注力しました。

当期においては、国内外でアプリゲーム化権や映像配信権の販売が好調に推移しました。収益性の高い版權事業や海外での映像配信権販売事業が大幅増収となったこともあり、大幅な増収増益を果たし、売上高・各利益とも過去最高額を更新しました。

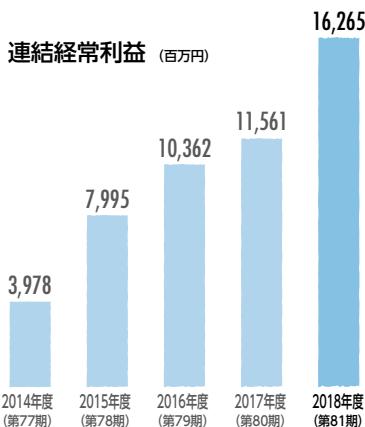
連結売上高 (百万円)



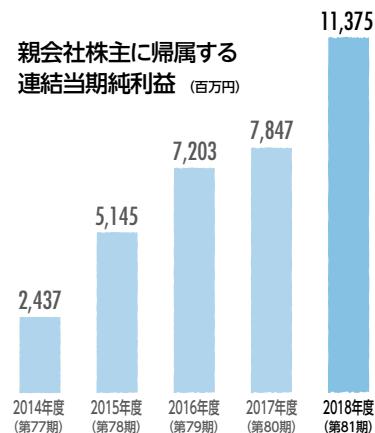
連結営業利益 (百万円)



連結経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
連結当期純利益 (百万円)



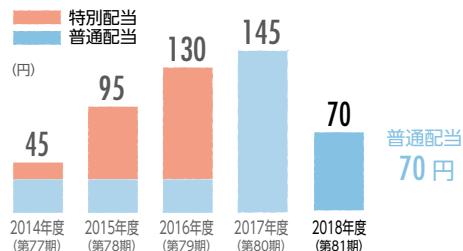
配当

当社は継続的かつ安定的な配当の実施を基本に、中長期的な事業計画に基づく積極的な事業展開のための内部資金の確保や業績等を総合的に勘案して、配当を決定しております。

当期の年間配当金につきましては、1株当たり70円といたしました。

※当社は2018年4月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割をしております。

第80期以前については、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。

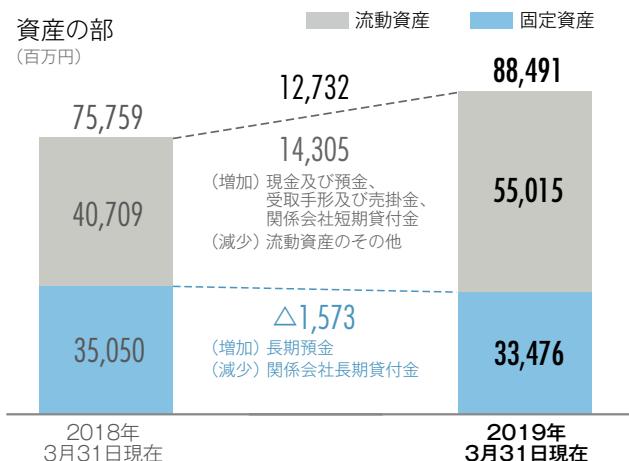
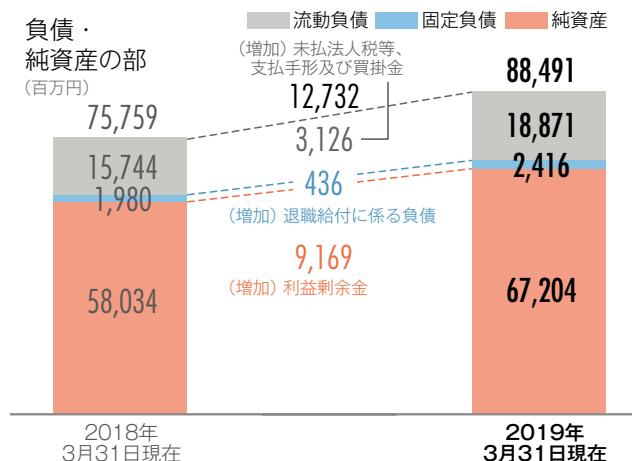
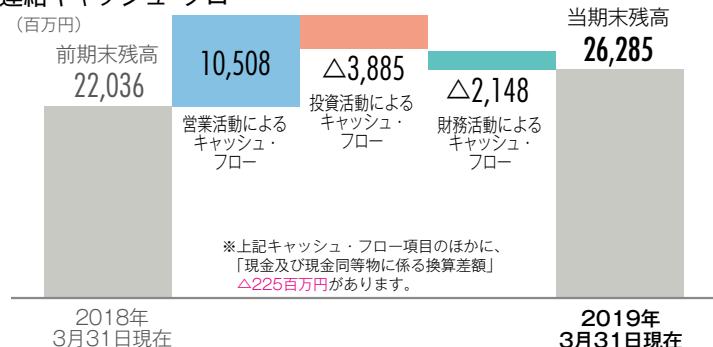


詳細な財務情報のご案内

当社ホームページの「IR情報」に各種資料を掲載しております。

【IR情報】 <http://corp.toei-anim.co.jp/ir>

連結貸借対照表

資産の部
(百万円)負債・
純資産の部
(百万円)連結キャッシュ・フロー
(百万円)

POINT

引き続き安定した財政状態を維持しております。総資産は前期末より16.8%増加し884億91百万円、純資産は15.8%増加し672億4百万円、自己資本比率は75.9%と高い水準となっています。

第82期見直し

主力作品による収益の安定・拡大を図るとともに、事業においては国内外でアプリゲーム等ゲーム化権の販売に加え、成長著しい中国を中心とした映像配信権販売に引き続き注力します。

製作原価の上昇等の課題はあるものの、企画・製作・営業を国内外問わず三位一体で運用できる当社の強みを活かし、配信向けアニメーション「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」(2019年7月19日より配信開始予定)、映画「ONE PIECE STAMPEDE」(2019年8月9日公開予定)、「劇場版デジモンアドベンチャー(仮題)」(2020年初春公開予定)、サウジアラビアとの合作アニメーションなど、多様なメディアや新たな地域に向けた新規作品も製作・展開していきます。

版權事業においては、アプリゲーム市場拡大に伴う新規競合タイトルが数多くリリースされていることや、現在好調な「ドラゴンボール」シリーズではテレビ放映終了の影響や映画公開の反動、また、前期にあった遊技機の複数大口契約の反動減などもあり事業全体としては減収となる見込みです。

なお、配当につきましては、連結業績に応じて配当性向25%程度を基本としており、期首予想利益をもとに1株当たり52円としています。

2019年度(第82期)
連結業績予想

売上高	46,200	百万円
販管費	7,400	百万円
営業利益	12,000	百万円
経常利益	12,300	百万円
親会社株主に 帰属する当期純利益	8,500	百万円

事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

テレビアニメや劇場アニメ等を企画・製作し、テレビや劇場、DVD、ブルーレイ、スマートデバイス等、さまざまなメディアで展開しています。

売上構成比



売上高 **195億31** 百万円 前期比 **20.4%** 増

「劇場アニメ部門」

「ドラゴンボール超 ブロリー」や「プリキュア」シリーズのヒットにより、大幅な増収となりました。

売上高 **17億58** 百万円

売上高推移(百万円)



「テレビアニメ部門」

「ワンピース」、「スター☆トゥインクルプリキュア」、「ゲゲゲの鬼太郎」等の5作品を放映しました。前期に比べ放映本数が減少したことから、減収となりました。

売上高 **28億88** 百万円

売上高推移(百万円)



Lineup of the year

〈劇場アニメ〉

「ドラゴンボール超 ブロリー」

2018年
12月14日公開



2019年
3月16日公開

「映画プリキュアミラクルユニバース」

〈新作テレビアニメ〉



「スター☆トゥインクルプリキュア」

2019年
2月～

「コンテンツ部門」

前期にあった「美少女戦士セーラームーンCrystal」のブルーレイ・DVDの売上に相当するものがなかったことから、大幅な減収となりました。

売上高 **6億60**百万円

売上高推移(百万円)



「海外映像部門」

中国向け大口映像配信権の販売本数が増加したことに加え、北米向け映像配信権の販売が好調に稼働したことから、大幅な増収となりました。

売上高 **109億34**百万円

売上高推移(百万円)



「その他部門」

国内での映像配信権の販売が好調に稼働したことに加え、「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」の製作代収入があったことなどから、大幅な増収となりました。

売上高 **32億89**百万円

売上高推移(百万円)



Lineup of the year



Blu-ray
「マジンガーZ / INFINITY」

DVD
「映画HUGっと!プリキュア
ふたりはプリキュア
オールスターズ
メモリーズ」

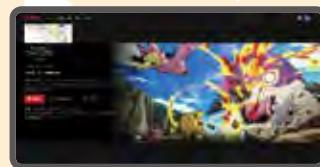
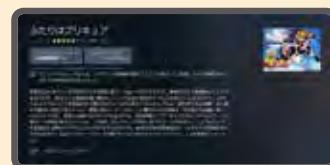


北米映像配信
「ドラゴンボール超」



中国映像配信
「ワンピース」

映像配信サイト
『Amazonプライム
ビデオ』



映像配信サイト
『Netflix』

事業セグメントの状況

著作権事業

テレビ放映や劇場公開等と連動して、作品に登場するキャラクターを使用した玩具やゲーム・衣類・文具・食品等の商品を作る権利を、各メーカーに許諾しています。

売上構成比



売上高 **302億10**百万円 前期比 **25.2%増**

「国内著作権部門」

アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や、『ドラゴンボール レジェンズ』が好調だったことに加え、複数作品で遊技機の大口契約があったことから、大幅な増収となりました。

売上高 **165億47**百万円

売上高推移(百万円)



2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度

「海外著作権部門」

アプリゲーム『ドラゴンボールZ ドッカンバトル』や、『ドラゴンボール ファイターズ』を中心とした家庭用ゲーム、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権が欧米で好調に稼働したことに加え、アプリゲーム『ドラゴンボール レジェンズ』の配信が開始されたことから、大幅な増収となりました。

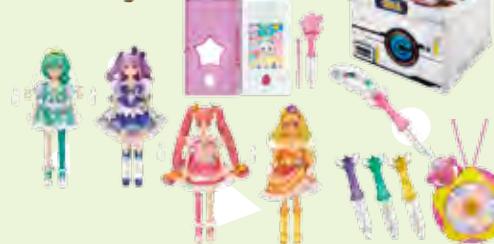
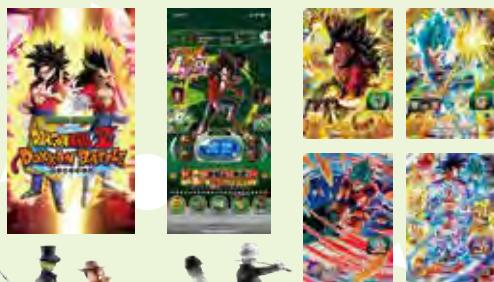
売上高 **136億62**百万円

売上高推移(百万円)



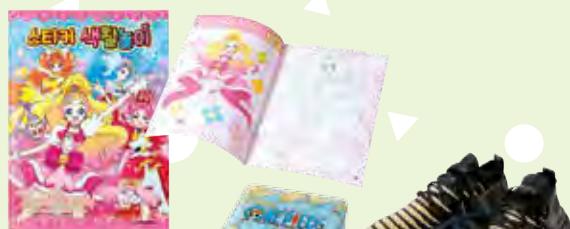
2014年度 2015年度 2016年度 2017年度 2018年度

Lineup of the year



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「スター☆トゥインクルプリキュア」

国内展開商品



「ドラゴンボール」シリーズ、「ワンピース」、「プリキュア」シリーズ
海外展開商品

商品販売事業

著作権事業とは別に、当社自ら商品を開発・販売しています。また、イベントや店舗での直接販売もしています。

売上高 **51億66**百万円

前期比 **8.4% 増**

売上構成比



「ドラゴンボール超 ブロリー」の劇場公開に合わせたタイアップ・キャンペーン関連商品の販売が好調だったことに加え、『プリキュア プリティストア』などのショップ事業が好調だったことから、増収となりました。

売上高推移(百万円)



その他事業

催事やキャラクターショー、ミュージカルなどのイベントの企画・運営を行っています。

売上高 **9億70**百万円

前期比 **9.1% 減**

売上構成比



前期にあった「ドラゴンボール超」の催事関連に相当するものがなかったことから、減収となりました。

売上高推移(百万円)



Lineup of the year

「ドラゴンボール超 ブロリー」
くら寿司タイアップ関連



Lineup of the year



海外での事業展開

国内・海外売上構成比



海外地域別売上高推移
(百万円)



※セグメント間取引額を含んでおります。

特集：全世界で大ヒット！ 映画「ドラゴンボール超 ブロリー」

プロデューサーインタビュー



中国公開も決定し、さらなる快進撃を続ける
映画「ドラゴンボール超 ブロリー」

世界中のアニメファンを熱狂させた 作品が挑んだ新たなチャレンジとは？

林田 師博 (はやしだ のりひろ)

「ドラゴンボール超 ブロリー」のプロデューサー。
2011年入社。海外ライセンス事業部、
映像企画部を経て、現在、第三映像企画部に所属。
映画「ドラゴンボールZ 復活の「F」」、テレビシリーズ
「ドラゴンボール改」のプロデューサーでもある。



★ストーリー

これは、新たな“サイヤ人”の物語。
「力の大会」後の平和な地球。宇宙にはまだまだ見た事のない強者がいるとわかった悟空は、更なる高みを目指して修業に明け暮れていた。そんなある日、悟空とベジータの前に現れたのは、見たことがないサイヤ人“ブロリー”。惑星ベジータ消滅とともにほぼ全滅したはずの“サイヤ人”がなぜ地球に？再び地獄から舞い戻ったフリーザも巻き込み、全く違う運命をたどってきた3人のサイヤ人の出会いは、壮絶な闘いへー。

©バードスタジオ／集英社
©「2018ドラゴンボール超」製作委員会

Q1 映画「ドラゴンボール超 ブロリー」(以下、「ブロリー」)
の全世界での興行の状況について教えてください。

4月末時点の全世界興行収入は130億円を突破しており、前作「ドラゴンボールZ 復活の「F」」の79億円と比較して、65%アップで推移しています。前作同様に中南米が好調だったことに加え、北米で大きく伸ばすことができたのが、この好成绩につながっています。特筆すべきは、北米興行収入デイリーランキング第1位獲得という快挙を成し遂げたことです。^(※1)

今後、5月24日からの公開が決定している中国(映画市場規模世界第2位)やドイツのほか、いくつか公開予定の地域を残しており、ここからどこまで興行収入が積み上がるか、個人的にも楽しみです。

企画段階から、全世界興行収入当社新記録を作るとを個人目標に掲げていたので、それが達成でき、まずはほっとしています。この勝利は、スタッフ、キャスト、パートナーの皆様と一緒につかんだもので、改めてご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。本作品に期待して応援いただいた株主の皆様にも、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。



中国の北京国際映画祭でのプレミア上映会の模様。上映会は当初2回を予定していたのですが、チケット(有料)は数分で完売。急遽3回目を実施することになったのですが、こちらも1分で即完売でした。

★スタッフ

原作・脚本・キャラクターデザイン：鳥山明
監督：長峯達也 作画監督：新谷直大

★キャスト

野沢雅子、堀川りょう、中尾隆聖、島田敏、
久川綾、古川登志夫、草尾毅、山寺宏一、森田成一、
宝亀克寿、水樹奈々、杉田智和 他

公式サイト：<http://www.dbmovie-20th.com/>

※1：日本アニメ映画が北米で1位を獲得したのは1999年公開の「劇場版ポケットモンスター ミュウツーの逆襲」以来20年ぶり

Q2 「プロリー」の大ヒットにあたっては、 どのような新たなチャレンジがありましたか？

一番大きなチャレンジは、キャラクターデザインの変更です。「より今っぽく、スタイリッシュに」というのがお題で、悟空はいわゆる「細マッチョ」で足も長めにしました。キャラクターデザインの変更は実に四半世紀ぶりとなり、当初は社内外関係者からも「何で変える必要があるの?」という意見が大半を占め、断行するにあたり辛い思いもしました。幸いティザービジュアル^(※2)でお披露目となった際はネガティブな意見はほとんどなく、その後キービジュアルや予告動画などが公開されるにつれて好評を博するようになり、映画本編公開後の評価も高く、まさに「してやったり」の気分でした。また、今作は海外でヒットさせることが重要課題になっていたため、そのためのプロモーション展開でも大きなチャレンジをしました。中でも最もインパクトがあったと感じているのは、世界的に有名なコミコン^(※3)である「サンディエゴ・コミコン」と「ニューヨーク・コミコン」でのパネルディスカッション(座談会形式のイベント)への参加です。

「アベンジャーズ」や「スター・ウォーズ」などのハリウッドのメジャー作品が両コミコンで製作発表を行っているのですが、今回「プロリー」でも、同じようにハリウッド流のプロモーションを仕掛けたのです。企画段階から予告編は両コミコンで全世界初公開することに決めていました。

結果として、想像を絶する反



米国開催の2大コミコンの様様。上はサンディエゴで最大キャバを誇るホールH、下はニューヨークで世界の名だたるアーティストがライブ会場として使用するマディソン・スクエア・ガーデンにてパネルディスカッションを実施。それぞれ6,500人、5,600人の前で登壇しました。意外と緊張はしなかったのですが、ファンの熱に圧倒されました。

響があり、北米はもちろん、中南米や欧州など他地域での興行に向けて最高のアピールができました。

Q3 プロデューサーとしていつも大事にしていること、 そして、これから取り組んでいきたいことは何ですか？

最も大事にしているのは、やはり「作品に対する愛」です。これだけは他人に教えてもらって身につくものではないですからね。私は「ドラゴンボール」を誰よりも理解しているとまでは言い切れませんが、社内の誰よりも原作コミックを読み込み、過去作の映像を観ている自信はあります。ちなみに私の場合、担当作品の英語版セリフはすべて自分でチェックしています。英語版は他の外国語版のベースになりますから、海外のファンに内容をしっかりと伝えるためにも、この作業はプロデューサーが責任をもってやるべきだと考えています。実際に今作でもいくつか明らかな誤訳があったので、現地配給会社に修正してもらいました。英語版セリフ監修の精度を高めるために、時間を見つけては英語版の原作コミックや過去作の映像をチェックするようにしています。何事も徹底してやるのが自分の流儀です。また、私は他人より映画館でたくさん映画を観て研究するようにしています。われわれの業界では、「自腹で映画館に行って映画を観ない者は、映画を創る側になる資格はない」とよく言われますが、その通りだと思いますね。たくさん観たからといってヒット作が創れるというわけではありませんが、必要条件であることは間違いありません。観客の気持ちがわからなければ、良い作品は創れませんし、映画の神様が微笑んでくれることもないでしょう。生涯映画鑑賞本数という点では、当社の現場プロデューサーの中で私を上回る人はいないと思います。今作では世界で一定の成功を収め、自分でも納得のいく仕事ができたと考えていますが、満足はしてません。

次なる私の夢は、「アベンジャーズ」、「スパイダーマン」などのマーベル映画や、「ジャスティス・リーグ」、「バットマン」などのDC映画に名実ともに肩を並べる映画「ドラゴンボール」を創ることです。夢の実現に向けて邁進してまいります。今後とも、応援のほどよろしくお願いいたします。

※インタビュー内容は4月末時点のものです。

※2：「ティザー」とは「じらす」という意味で、情報の一部を隠すことで話題・興味を喚起する手法

※3：コミック・コンベンションの略称で、コミック・アニメなどのサブカルチャーに関する大規模イベント

2018年度中間実施



株主さまアンケート結果のご報告

2018年12月に実施いたしました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました1,900名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、300名の皆様に「ワンピース」2019年カレンダーをご送付いたしました。

今回はアンケート結果のご報告として、皆様より頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントをご紹介します。

アンケート回収状況

回答数 **1,923名**
株主数 **5,802名**※

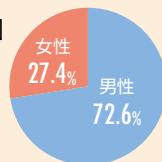
※2018年9月末時点

回収率

33.1%

ご回答者の属性

[男女比]



[年代別]



当社に投資された理由をお聞かせください。

プリキュアは子供が小さいころから見ている。これからも楽しみにしています。(20代女性)

子供がワンピースのファンだったので。(50代女性)

これからも優待楽しみにしています。(40代女性)

地元企業で親しみがあるから。(50代女性)

クオカードは毎回楽しみにしています。PERO'Sステーションは絵がふんだんに記載されていて、きれいで読んでいて楽しいです。(60代男性)

子供のころから、東映アニメのファンだったので。(50代女性)

今後、業績の伸長に期待しています。(20代男性)

バランスシートに反映されていない過去の膨大なコンテンツがあるから。(40代男性)

アニメ事業は、国境を越えて人々の心を豊かにし、世界平和に貢献する重要な事業。今後も一杯応援していきたい。(50代男性)

クールジャパンで海外に強い。(40代男性)



アンケートご協力をお願い

担当者より 株主の皆様とより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いいたします。ご回答いただきました方の中から抽選で500名様に、「ドラゴンボール超」、「ワンピース」、「スター☆トゥインクルプリキュア」の文具セットを進呈いたします。応募期間が短くなっておりますのでご注意ください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

締切日
2019年
7月9日(火)



皆様からのご意見



「おしりたんてい」を子供と一緒に楽しく見
ています。映画もたのしみです。(40代女性)

A ありがとうございます。累計発行部数500万部を超える大人気児童書原作のテレビアニメ「おしりたんてい」は、毎週土曜日午前9時よりNHK Eテレにて放映中です。また、29年ぶりに復活した「東映まんがまつり(2019年4月26日公開)」内で、「映画 おしりたんてい カレーなる じけん」が公開され、子供たちに大変好評でした。今後は、出版、テレビ、映画のメディアミックス展開に加えて、当社が得意とする商品化、イベント、ブルーレイ、配信等の多面的なコンテンツ展開を本格化します。今後とも「おしりたんてい」への応援をよろしく願いたします。



2019年夏公開の
ワンピースに期待しています。(30代男性)

A アニメ放送20周年記念作品となる劇場版「ONE PIECE STAMPEDE」は、2019年8月9日に公開予定です。前作から3年の時を経て公開される劇場版最新作となる「ONE PIECE」14作目のサブタイトルは、“熱狂的行動”“殺到”“暴走”を意味する「STAMPEDE(スタンピード)」です。「海賊の、海賊による、海賊のための世界一の祭典 海賊万博」を舞台に、個性豊かな人気キャラクター総勢38名が集結し、ドラマチックなストーリーを展開していきます。アニメ放送20周年記念企画と連動して、商品化、アプリゲーム、キャンペーン、イベント、配信等で映画公開を盛り上げてまいりますので、どうぞ期待ください。



次代を担う新人クリエイターの育成、
環境の整備とバックアップを!(50代男性)

A 当社は、企画・製作・営業の機能を持つ総合アニメスタジオの強みを活かし、当社に集う意欲と才能にあふれた人材の育成と成長支援を行っております。製作部門では、日々の堅実なスキル形成と、飛び抜けた才能を持つスター人材の発掘の両方を行っております。まず、研修で知識を教えつつ、徐々に実際の作品に携わり経験を積む中で、プロとしての規範・スキルを形成していきます。一方で、製作部門が独自に行う研究開発プロジェクトで、新たな製作手法による作品づくりに取り組み、スター人材の発掘の場としています。さらに、新たな収益源の開拓と、人材の飛躍的な成長のため、企画・製作・営業の若手人材が部門横断で連携し、新たなターゲット、製作手法、ビジネススキームによる新規作品開発に取り組んでいます。



スタジオ見学会をまた開催して欲しい。
(30代男性)

A 多くの株主さまからのご要望にお応えし、昨年引き続き今年も株主さま限定スタジオ見学会の開催が決定いたしました。前回ご参加いただいた株主さまからは、製作現場を直接見ることができ感動したなど、ご好評いただきました。今回もスタジオ内のご案内に加えて、アニメ製作工程の解説やアニメの彩色(色付け)体験などを行います。詳細は次ページにございますので、ご一読ください。株主の皆様当社についてより理解を深めていただくための貴重な場となっています。皆様のご応募をお待ちしています。
※応募者多数の場合は、抽選となります。

株主優待のご案内

2019年3月期から、株式分割に伴い贈呈基準が変更となりました。

権利確定日：3月末日

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ2枚の計4枚が1セットです。

2019年3月期進呈のQUOカード

所有株式数	優待内容
100株以上	1セット (1,200円相当)
300株以上	2セット (2,400円相当)
500株以上	3セット (3,600円相当)
1,000株以上	5セット (6,000円相当)
3,000株以上	8セット (9,600円相当)
5,000株以上	10セット (12,000円相当)
10,000株以上	12セット (14,400円相当)



株主優待オリジナルの「キャラクター QUOカード」を進呈

◆2019年3月期贈呈QUOカード◆



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「スター☆トゥインクルプリキュア」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「ゲゲゲの鬼太郎」
1968年1月3日～1969年3月30日



「マジンガーZ対デビルマン」
1973年7月18日公開作品

描きおろし

トピックス

株主さま限定

スタジオ見学会を実施いたします!!

- 見学場所：東映アニメーション株式会社 大泉スタジオ
〒178-8567 東京都練馬区東大泉 2-10-5
- 最寄り駅：西武池袋線大泉学園駅(徒歩約15分)
- 見学日時：2019年8月23日(金)
1回目 10:30～12:30
2回目 14:30～16:30

お申し込み方法：本誌郵送時に同封されておりますアンケート葉書にて、ご希望の日時をご指定いただき、ご応募ください。

お問い合わせ先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東映アニメーション株式会社専用窓口
株主さまサポートセンター
電話番号：0120-313-282 (通話料無料)
受付時間：9:00～17:00 (土日祝日等を除く)

お申し込み締切日：2019年7月9日(火) 当日消印有効

当選者の発表：ご応募が多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選発表は、ご招待状の発送をもって代えさせていただきます。

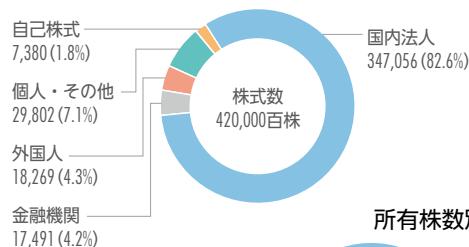


会社情報 (2019年3月31日現在)	
商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 : 755名 単体 : 485名
上場市場	JASDAQ(コード:4816)
ホームページ	http://corp.toei-anim.co.jp

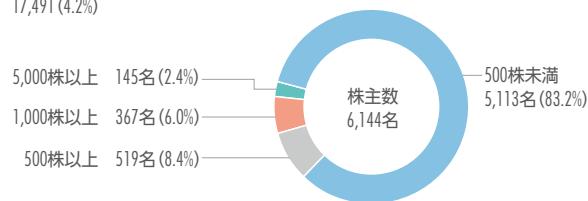
株主メモ	
決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL 0120-232-711(通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く 9:00~17:00)
公告方法	電子公告 http://corp.toei-anim.co.jp

株式の状況 (2019年3月31日現在)	
発行済み株式総数	42,000,000株
株主数	6,144名

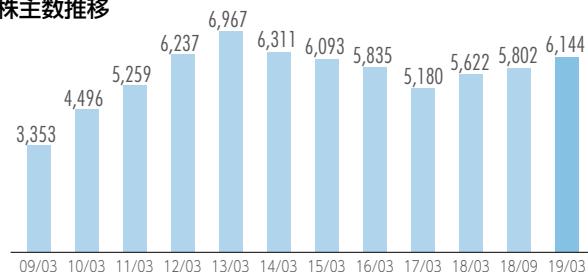
所有者別株式分布状況 (単位: 百株)



所有株数別分布状況



株主数推移



お知らせ

■ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ 「配当金計算書」について

配当金支払いの際にご送付する「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をされる株主さまは、大切に保管ください。

注目の8作品



「スター☆トゥインクルプリキュア」

毎週日曜日 朝8:30 ~
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「聖闘士星矢: Knights of the Zodiac」

Netflixにて開始
2019年7月19日(金)配信開始予定



「ゲゲゲの鬼太郎」

毎週日曜日 朝9:00 ~
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」

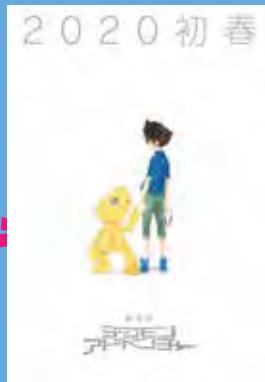
毎週日曜日 朝9:30 ~
フジテレビほかにて放映中



劇場版

「ONE PIECE STAMPEDE」

2019年8月9日(金)公開予定



「劇場版デジモン アドベンチャー (仮題)」

2020年初春公開予定



「おしりたんてい」

毎週土曜日 朝9:00 ~
NHK Eテレにて放映中



「魔女見習いをさがして」

2020年公開予定

©尾田栄一郎・2019「ワンピース」製作委員会・バードスタジオ・集英社・[2018 ドラゴンボール超]製作委員会・2019 映画プリキュアミラクルユニバース製作委員会・ABC-A・永井豪・ダイナミック企画・MZ製作委員会・2018 映画HUGっと!プリキュア製作委員会・フジテレビ・本郷あきよし・BANDAI NAMCO Entertainment Inc.・BANDAI・水木プロ・トルロ・ポプラ社・Masami Kurumada・東映アニメーション

免責事項

この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。

